

# 令和5年度 病害虫発生予察情報

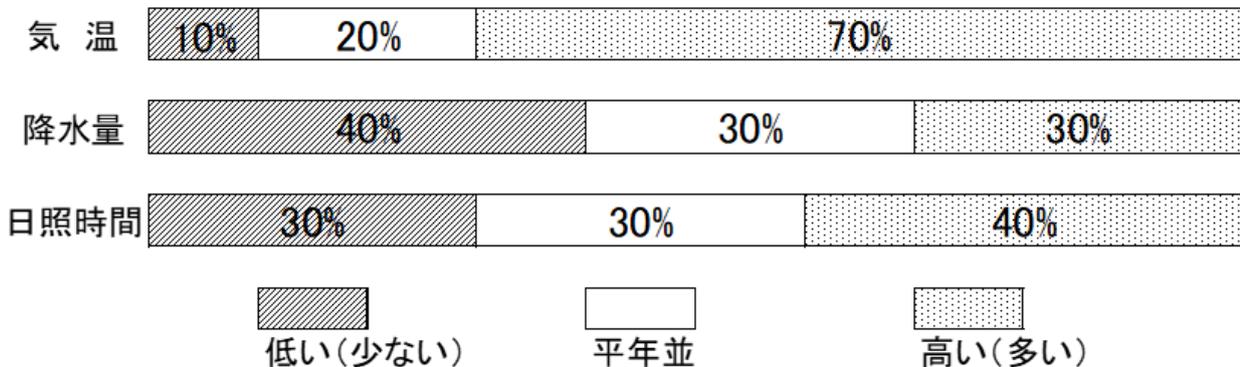
## 発生予報第6号（8月）

令和5年8月1日  
島根県

### 予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量
普通作物	イネ	穂いもち	平年並
		紋枯病	やや少ない～平年並
		白葉枯病	平年並
		ニカメイチュウ	多い
		ツマグロヨコバイ	少ない～やや少ない
		セジロウンカ	やや少ない～平年並
		トビイロウンカ	平年並
		コブノメイガ	平年並～やや多い
		斑点米カメムシ類	多い
		ハスモンヨトウ	平年並～やや多い
果樹	ダイズ	黒斑病	少ない
	ナシ	シンクイムシ類	やや多い
		ハダニ類	平年並～やや多い
		カメムシ類	やや少ない
カキ	うどんこ病	少ない～やや少ない	
	カキミガ	平年並～やや多い	
	カメムシ類	やや少ない	
野菜	アブラナ科野菜	ハスモンヨトウ	平年並～やや多い

中国地方1か月予報(7月29日～8月28日・広島地方气象台7月27日発表)  
＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞



A. 普通作物

1) イネ

(1) 穂いもち

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査(70ほ場)では、穂いもちの発生ほ場率が5.7%(平年7.7%)、発病株率が1.8%(平年2.7%)と、発生量は平年に比べてやや少ない。
- ② 県内の一部で発生程度の高いほ場も見られ、全般の発生量は平年並みである。
- ③ 向こう1か月の気象は、本病の発生にやや抑制的である。

(2) 紋枯病

予報内容

発生地方 県内全域

発生地方 平年並

発生量 やや少ない～平年並

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は10.0%(平年13.6%)、発病株率が0.8%(平年1.9%)と、発生量は平年に比べてやや少ない。
- ② 向こう1か月の気象は、本病の本病の発生(発病株での上位進展)にやや助長的である。

(3) 白葉枯病

予報内容

発生地方 県内常習発生地帯

発生量 平年並

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では発生を認めていない。
- ② 向こう1か月の気象は、本病の発生にやや抑制的である。

(4) ニカメイチュウ(第2世代)

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 多い

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は23.9%(平年2.7%)、被害株率は0.3%(平年0.1%)と発生量は多い。
- ② 7月第5半旬までの予察灯(出雲市)、フェロモントラップ(出雲市)における誘殺数は平年並みである。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。  
注) 令和5年度 病害虫発生予察情報 技術情報 第4号 参照。

(5) ツマグロヨコバイ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 少ない～やや少ない

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は28.3%(平年43.6%)、捕獲数は1.9頭(平年7.8頭/50株)と発生量は平年に比べて少ない。
- ② 7月第5半旬までの予察灯(出雲市)での誘殺数は平年に比べて少ない。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(6) セジロウンカ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 やや少ない～平年並

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は63.0%(平年69.3%)、捕獲数は5.8頭(平年24.2頭/50株)と発生量はやや少ない。

- ② 7月第5半旬までの予察灯（出雲市）、粘着誘殺灯（出雲市）、ネットトラップ（出雲市）での誘殺数は平年並みである。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(7) トビイロウンカ

予報内容  
 発生地方 県内全域  
 発生量 平年並

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は0.0%（平年8.1%）、捕獲数は0.0頭（平年0.4頭/50株）と発生量は平年並みである。
- ② 7月第5半旬までに予察灯（出雲市）、粘着誘殺灯（出雲市）、ネットトラップ（出雲市）で誘殺されていない。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(8) コブノメイガ

予報内容  
 発生地方 県内全域  
 発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は41.3%（平年16.2%）、被害株率は0.9%（平年2.9%）と発生量は平年並みである。
- ② 7月第5半旬までに予察灯（出雲市）、粘着誘殺灯（出雲市）で誘殺されていない。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(9) 斑点米カメムシ類

予報内容  
 発生地方 県内全域  
 発生量 多い

予報の根拠

- ① 7月下旬に出穂しているほ場でのすくい取り調査では、斑点米カメムシ類の発生ほ場率は81.8%（平年51.6%）、平均捕獲虫数は6.7頭/20回振り（平年3.1頭）であり、発生量は平年に比べて多い。主要種はアカスジカスミカメであるがホソハリカメムシなどの大型カメムシ類の割合が高い。
  - ② 7月第5半旬までの予察灯へのアカスジカスミカメ及びアカヒゲホソミドリカスミカメの合計誘殺数は151頭（平年201.0頭）と平年並みである。
  - ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。
- 注) 令和5年度 病害虫発生予察情報 注意報 第2号 参照。

2) ダイズ

(1) ハスモンヨトウ

予報内容  
 発生地方 県内全域  
 発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 7月第1半旬～第5半旬までのフェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の累積誘殺数は、県東部で365頭（平年289.9頭）、県西部で81頭（平年182.9頭）と平年並みであった。
- ② 7月下旬の巡回調査では、ダイズほ場での本種幼虫による被害（白変葉）は県東部・西部とも認めていない。西部では幼虫の発生が認められた。
- ③ 向こう1か月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

B. 果樹

1) ナシ

(1) 黒斑病

予報内容  
 発生地方 県内「二十世紀」栽培地帯  
 発生量 少ない

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、発病葉率 7.9%（平年 11.3%）と、発生量は平年に比べて少ない。
- ② 向こう1か月の気象は、本病の発生を助長する要因とはならない。

(2) シンクイムシ類

予報内容

発生地方 県内ナシ栽培地帯  
発生時期 やや早い  
発生量 やや多い

予報の根拠

- ① フェロモントラップ（安来市、出雲市）でのナシヒメシンクイ第1世代の雄成虫の誘殺盛期は平年並み、7月第6半旬までの誘殺数はやや多い。
- ② 向こう1か月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。

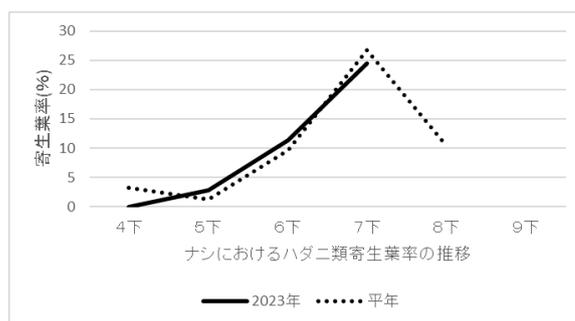
(3) ハダニ類

予報内容

発生地方 県内ナシ栽培地帯  
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、寄生葉率 24.4%（平年 26.7%）、寄生虫数 41.6頭/50葉（平年 69.5頭）と平年並みである（右図参照）。
- ② 向こう1か月の気象は、本種にやや助長的である。



(4) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内ナシ栽培地帯  
発生量 やや少ない

予報の根拠

- ① 予察灯（出雲市）での7月6半旬までのチャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ、アオクサカメムシの4種果樹カメムシ類の誘殺数は212頭（平年 898.2頭）と平年に比べてやや少ない。
- ② 向こう1か月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。

2) カキ

(1) うどんこ病

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯  
発生量 少ない～やや少ない

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、発病葉率 0.8%（平年 3.4%）であり、発生量は平年と比べてやや少ない。
- ② 向こう1か月の気象は、本病の発生に抑制的である。

(2) カキミガ（第2世代）

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯  
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、第1世代幼虫による芽及び果実の被害は平年並みである。
- ② 向こう1か月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(3) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯  
発生量 やや少ない

予報の根拠

- ① 7月第6半旬までの予察灯でのチャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ、アオクサカメムシ4種の合計誘殺数は212頭(平成898.2頭)と平年に比べてやや少ない。
- ② 7月下旬の巡回調査では、カキの被害果率は0%(平成0.3%)と平成並みである。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。

C. 野菜

1) アブラナ科野菜

(1) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県内全域  
発生量 平成並～やや多い

予報の根拠

- ① 7月第1半旬～第5半旬までのフェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の累積誘殺数は、県東部で365頭(平成289.9頭)、県西部で81頭(平成182.9頭)と平成並みであった。
- ② 7月下旬の巡回調査では、本種幼虫の発生を認めていないが、県西部のダイズほ場では幼虫の発生が認められた。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

【参考となる事項】

※最新の農薬登録状況

農林水産省ホームページには、農薬登録情報提供システムが掲載されています。

農林水産省農薬登録情報提供システムのアドレスは <https://pesticide.maff.go.jp/>

島根県病害虫防除所 (島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科)

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL 0853-22-6772、FAX 0853-24-3342

ホームページアドレス

[http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo\\_tech/byougaityuu/](http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/)

e-mail boujyo@pref.shimane.lg.jp